

隆照寺の風

令和八年三月
第155号
春彼岸

前の寺報へ告知致しましたお正月法要「新年会」の日程を、年間予定表へ誤って記しておりました。正しくは下の通りです。

二月になって新年の行事とは間延びしたように感じられるかもしれませんが、新暦と旧暦の妙でいにしえの季節は遅れてやってきます。年始末に中華（台湾）料理店が営業するのも旧正月に新年を祝うため。日本も他にあらず新旧暦の行事が混在しておりますから旧正月のお祝いも兼ねて。またすこし早いのですが春のお彼岸の日程も併せてご案内申し上げます。お彼岸法要の本来は、仏への道を歩む正しい生き方の実践にあります。浄土真宗のみ教えは私へ生き方を問いません。私たちのお彼岸は、生き方を問われないという生き様について「考える」節目といたしましょう。

しんねんえ

新年会 お正月法要

「衆水海に入りて一味なるがごとし（正信偈）」
めでたい人も悲しい気分の人も皆で初参り

志津 墓苑対面所

1月4日（日）14時

堀切 隆照寺本堂

2月8日（日）14時

3月20日（春分の日）

3月22日（日曜日）

第一座 9時00分

第二座 9時30分

第三座 10時00分

第四座 10時30分

第五座 11時00分

第六座 11時30分

おひるやすみ

第七座 13時00分

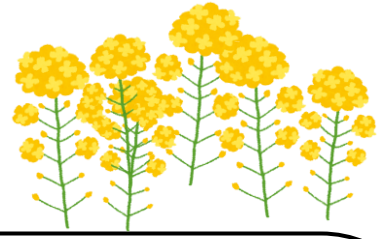
第八座 13時30分

第九座 14時00分

第十座 14時30分

春のおひがん
墓苑（千葉）対面所にて





おひがんの法要に納めてくださる懇志金など（お布施）は、仏前へお供えして施主名を表白させていただきます。各座のはじまる前に住職までお預けください。狭い対面所です、頻回に勤めますので譲り合ってご参拝ください。法要ののち、それぞれにお墓参りをなさってください。

浄土真宗のおひがん

おひがんの語源は遠くインドの言葉でパーラミターと言い、音は「波羅蜜多」と写して、意味は「度彼岸」と漢訳される。彼岸というのは浄土のこと、浄土へと度る（渡る）ための行を六波羅蜜という。この六を満足すれば、いよいよ成仏する。かつて法蔵と名のる菩薩がいた。全ての世界をご覧じて、闇の深みを照らそうと「南无阿彌陀佛」にすがたを納め、ついに浄土を飛び出した。ただちに来りて住すみ処と選り宿り着きたる我が心、口動かせば音となり、「あなたに会えてよかった」と聞かせる声が「なんまんだぶ」。私が彼岸へ行くより先に彼岸が私に会いに来る。

隆照寺墓苑 管理寺務所 からのお知らせ

墓所使用にかかる年間の費用は、

金融機関からも送れます。

※これまで通り寺務所でも受け付けます。

ご送金の宛先

【郵便振替による場合】

記号・番号

10020-51619261

リウシヨウジ

【銀行振込による場合】

ゆうちょ銀行

〇〇八店(008)

普通5161926

リウシヨウジ

・手数料はご負担を願います

お受けした金額は所定の年額で割り、過去から順に受領して後日証書を郵送します。

春のお彼岸は激しく混みますので、できれば送金か別の機会にして下さると助かります。

・お彼岸期間(分の前後一週)は、

お彼岸のお花で一对一八〇〇円になります。

お線香は一对二〇〇円のご案内です。

・墓前への供花や供物などは、使用している
ご自身で片づけるのが原則です。

寺務所は9時から16時まで、水曜は定休です。

3月	4日	11日	25日	※18日は営業
4月	1日	8日	15日	22日
5月	13日	20日	27日	※29日は営業
				※6日は営業

休所日は墓地北側の駐車場をご利用ください。

お葬式や仏事のお問い合わせ、お墓などのご相談は

所長 山本 浩まで 043(462)5544

令和八年1月21日 発行

発行者



浄土真宗 本願寺派

大徳山 隆照寺

住職 小柴隆幸